

令和 2 年 9 月 市 議 会 定 例 会 一 般 質 問

個 別 質 問 答 弁 書

質 問 第 7 号

石 合 祐 太

議 員

上田市議会一般質問【個別質問】・答弁書

令和2年9月 定例会

質問通告番号第	7	号	質問議員	石合 祐太	議員	担当課	地域雇用推進課
質問要旨				答 弁			
1 新型コロナウイルス感染症に対する備えと生活再建についての質問				① 現在の雇用情勢について、ハローワーク上田管内の有効求人倍率は、3か月連続で1倍を下回り、特に地域の中核産業である「製造業」の求人が減少していることから、この地域の雇用情勢は厳しさを増していると認識しています。			
(1) 生活困窮者や失業者への支援について							
ア 失業者への就労対策として、市有施設で失業者を受入できるかを調査してはどうか。							
また、民間事業者に対しても雇用を呼び掛けてはどうか。				② また、ハローワーク上田からは、雇用調整助成金や休業支援金を活用し、各事業所は雇用の維持に努めているものの、派遣社員やパート労働者を中心に、解雇・雇い止めの数も増えており、今後の新型コロナウイルス感染症が与える経済活動への影響によっては、倒産や従業員への退職勧奨など、さらなる雇用情勢の悪化、失業者の増加が懸念されます。			
				③ 失業者への就労対策につきまして、こうした状況を受け、この度（今週中予定）、県内全てのハローワークに「求人確保対策本部」が設置され、上田市もハローワーク上田に設置された対策本部に加わり、近日中に開催が予定される初回の会議に出席いたします。			

上田市議会一般質問【個別質問】・答弁書

令和2年9月 定例会

質問通告番号第	7	号	質問議員	石合 祐太	議員	担当課	地域雇用推進課
質問要旨				答 弁			
				まずは、ハローワークとともに、民間事業者への新規求人開拓に努めていくことで、働く場の確保につなげていきます。			
				なお、現在のところ、市有施設での受入れ調査は行っていないが、今後の求人確保対策本部での協議や市内失業者の状況によっては、市有施設での受入れも含め、庁内で必要な施策を検討していきます。			

上田市議会一般質問【個別質問】・答弁書

令和2年9月 定例会

質問通告番号第	7	号	質問議員	石合 祐太	議員	担当課	地域雇用推進課
質問要旨				答 弁			
1 新型コロナウイルス感染症に対する備えと生活再建についての質問				① 就労に向けたスキルアップ訓練については、現在、ハローワークや県（産業労働部）において、介護や福祉等の求人が多い分野の資格取得をはじめ、Webデザインや簿記など就職に有利な職業訓練が行われています。			
(1) 生活困窮者や失業者への支援について							
イ 生活困窮者の実態把握に努め、就労に向けたスキルアップ訓練を行うなどの支援を行ってはどうか。				② 市としては、パソコンセミナーや、外国人向け日本語講座など、他機関では実施されない講座を独自に開催し、求職者のスキルアップに努めていますが、今後の雇用情勢によっては、更なる資格取得訓練等の検討も必要と考えますので、状況を注視し、関係機関と連携を図りながら、早めの対応に努めていきます。			

上田市議会一般質問【個別質問】・答弁書

令和2年9月 定例会

質問通告番号第	7	号	質問議員	石合 祐太	議員	担当課	福祉課
質問要旨				答 弁			
1 新型コロナウイルス感染症に対する備えと生活再建についての質問				① 新型コロナウイルス感染症拡大による影響を受けて、福祉課及び上田市社会福祉協議会に設置している生活困窮者自立相談支援センター「まいさぼ上田」での生活相談件数は、今年の4月頃から増加傾向となっています。			
(1) 生活困窮者や失業者に対する支援について							
イ 生活困窮者の実態把握に努め、就労に向けたスキルアップ訓練を行うなどの支援を行っていますかどうか。				② 福祉課及び「まいさぼ上田」の窓口においては、従来から、生活相談に来所される方の生活状況を聞き取ることで世帯実態の把握に努め、自立に向けた支援を継続して行っています。			
				③ 就労に向けた支援は、生活困窮者自立支援相談支援事業を、上田市社会福祉協議会や、ハローワークなどの関係機関と連携しながら継続して行っています。			
				④ 新型コロナウイルス感染症感染対策等の影響で、求人の減少や雇止めの増加等、就労先の確保が難しい傾向となっていますが、相談者の自立に向け寄り添った支援に引き続き取り組みます。			

上田市議会一般質問【個別質問】・答弁書

令和2年9月 定例会

質問通告番号第	7	号	質問議員	石合 祐太	議員	担当課	地域雇用推進課
質問要旨				答 弁			
1 新型コロナウイルス感染症に対する備えと生活再建についての質問				① 失業者への就労支援として、市が設置している「上田市就労サポートセンター」における、専任のコーディネーターによる無料職業紹介のほか、就職に向けた資格取得や職業訓練、「まいさぼ上田」や県（産業労働部）などが実施する就労支援事業へのマッチング、面接や職務経歴書の書き方指導など、相談者一人ひとりに寄り添った伴走型の就労支援を行っています。			
(1) 生活困窮者や失業者への支援について							
ウ 失業者への就労支援や生活資金を確保するための取り組みはどうか。また、外国籍市民や留学生への支援はどうか							
				② 外国籍市民も含め、当センターへの相談者がこのところ増加しています。市としては、センター機能の充実を図りながら、ハローワークや県（産業労働部）とも連携した就労支援に、今後も取り組んでいきます。			

上田市議会一般質問【個別質問】・答弁書

令和2年9月 定例会

質問通告番号第	7	号	質問議員	石合 祐太	議員	担当課	福祉課
質問要旨				答 弁			
1 新型コロナウイルス感染症に対する備えと生活再建についての質問				① 失業者への就労支援や生活支援の取組は、住居確保給付金の活用や、生活福祉資金貸付の案内、生活保護制度の活用など、相談者の個別の内容に応じた対応を行っています。			
(1) 生活困窮者や失業者に対する支援について							
ウ 失業者への就労支援や生活支援を確保するための取組はどうか。また、外国籍市民や留学生への支援はどうか。				② 上田市社会福祉協議会では、生活支援資金の貸付を数日で実行できる体制を整えているほか、より速やかな貸付が必要な場合は、社会福祉協議会の独自事業で、貸付額上限5万円の「たすけあい資金貸付事業」により、生活支援を行っています。			
				③ 外国籍市民から生活相談を受けた場合は、日本人と同様の支援を行っていますが、留学生に対する支援については、母国からの支援を受けて滞在しているなどの理由で、利用できる支援制度に限りがあります。			
				④ このような状況の中、これまでに本庁舎1階の多言語相談ワンストップセンターで、「特別定額給付金」の申請補助や、申請を促すために外国籍市民を			

上田市議会一般質問【個別質問】・答弁書

令和2年9月 定例会

質問通告番号第	7	号	質問議員	石合 祐太	議員	担当課	福祉課
質問要旨				答 弁			
				雇用する事業主などに中国語をはじめとした7ヵ国語に対応した多言語チラシの配布を行いました。			
				このほか、食糧配布支援などの各種支援事業の紹介を行うなど、外国籍市民や留学生が必要な情報を取得できるよう対応しています。			

上田市議会一般質問【個別質問】・答弁書

令和2年9月 定例会

質問通告番号第	7	号	質問議員	石合 祐太	議員	担当課	福祉課
質問要旨			答 弁				
1 新型コロナウイルス感染症に対する備えと生活再建についての質問			① これまでも相談や申請の受付は、申請権が阻害されることがない対応と、迅速な生活保護の要否判定を行うようにしており、今後も相談者に寄り添った丁寧な対応を行っていきます。				
(1) 生活困窮者や失業者に対する支援について							
エ 国は「新型コロナウイルス感染防止に関連した生活保護業務及び生活困窮者自立支援制度における留意点について」の事務連絡の中で、「保護の申請権が侵害されないことはもとより、侵害していると疑われるように行為も厳に慎むべきである」としているが、生活保護を必要としている人がためらわずに相談や申請をできる環境づくりとしてどのような取組を行うか。							

上田市議会一般質問【個別質問】・答弁書

令和２年９月 定例会

質問通告番号第	7	号	質問議員	石合 祐太	議員	担当課	福祉課																							
質問要旨				答 弁																										
また、新型コロナウイルスの感染が拡大してから、相談や申請件数に変化はあるか。				① 生活相談や生活保護申請件数の変化については、次表のとおりであり、今年の3月までは、新型コロナウイルスの感染症拡大の影響は表れていませんが、4月以降では、相談件数は増加しているものの、生活保護申請件数はほぼ横ばい傾向となっています。																										
				<table><tr><td colspan="2"></td><td>1～3月</td><td>4～8月</td><td>計</td></tr><tr><td rowspan="2">生活相談件数</td><td>令和2年</td><td>88件</td><td>243件</td><td>331件</td></tr><tr><td>令和元年</td><td>91件</td><td>165件</td><td>256件</td></tr><tr><td rowspan="2">生活保護申請件数</td><td>令和2年</td><td>37件</td><td>85件</td><td>122件</td></tr><tr><td>令和元年</td><td>54件</td><td>83件</td><td>137件</td></tr></table>						1～3月	4～8月	計	生活相談件数	令和2年	88件	243件	331件	令和元年	91件	165件	256件	生活保護申請件数	令和2年	37件	85件	122件	令和元年	54件	83件	137件
		1～3月	4～8月	計																										
生活相談件数	令和2年	88件	243件	331件																										
	令和元年	91件	165件	256件																										
生活保護申請件数	令和2年	37件	85件	122件																										
	令和元年	54件	83件	137件																										
				② この要因としては、生活に困窮し一時的な支援が必要な多くの方が、まずは今年の3月から貸付要件が緩和された、社会福祉協議会の「緊急小口資金」																										

上田市議会一般質問【個別質問】・答弁書

令和2年9月 定例会

質問通告番号第	7	号	質問議員	石合 祐太	議員	担当課	福祉課
質問要旨				答 弁			
				等の貸付事業を利用しているため、生活保護申請まで至っていないものと推測しています。			
生活保護の申請をしてから決定までの期間はどうか。				① 生活保護法第24条第2項及び第5項に法定期限が定められており、申請のあった日から14日以内を原則とし、資産や収入の調査に日時を要する場合等は30日まで延ばすことができるとされています。			
				② 生活保護の申請から決定までの個別の日数統計はとっていませんが、できる限り早く保護要否の判断を行い、要保護者に保護費を支給できるよう、事務の迅速化に努めています。			

上田市議会一般質問【個別質問】・答弁書

令和2年9月 定例会

質問通告番号第	7	号	質問議員	石合 祐太	議員	担当課	交通政策課
質問要旨				答 弁			
1 新型コロナウイルス感染症に対する備えと生活再建についての質問				① 新型コロナウイルス感染症の拡大による公共交通機関への影響ですが、6月以降は、学校再開などにより利用客数や収益の回復の兆しが見えつつありました。しかし、8月に入り、市内における感染者数が急増し、予断を許さない状況にある中、事業者においては、感染防止対策を徹底し、地域住民の生活を支えるという使命感をもって、運行を継続していただいています。			
(2) 公共交通事業者支援について							
ア 新型コロナウイルス感染症の拡大による影響を踏まえた地域の公共交通政策をどう考えるか。また、エッセンシャルワーカーである交通事業者に対して、支援を強化すべきと考えるが、見解はどうか。				② 市では、7月臨時会において「暮らしを守る公共交通緊急支援事業」として、バス、タクシー事業者に対して、総額5,600万円の補正予算により、積極的な支援を行ってきたところであり、今議会では、別所線の安全・安定輸送に向けた車両設備等の経費に対する支援も計上しています。			
				③ 一方で、市民生活を守る移動手段の確保・維持に向けては、市町村による継続的な支援とともに、観光振興や県内移動による利用を含めた広域的な視点から、国・県による更なる支援も必要であると考えます。			

上田市議会一般質問【個別質問】・答弁書

令和2年9月 定例会

質問通告番号第	7	号	質問議員	石合 祐太	議員	担当課	交通政策課
質問要旨				答 弁			
				④ 事業者との定期的な情報交換により、経営状況を的確に把握し、全市的な産業分野のバランスも考慮しながら、今後の支援策を検討していきます。			

上田市議会一般質問【個別質問】・答弁書

令和2年9月 定例会

質問通告番号第	7	号	質問議員	石合 祐太	議員	担当課	交通政策課
質問要旨				答 弁			
イ バス事業は、路線バスで生じた赤字を観光や高速バスの黒字で補てんしている状況のため、新型コロナウイルス感染症の影響により観光や高速バスの収益が減少することは、バス事業者にとって大きな痛手である。地域の足である市内の路線バスを存続するためには、市独自の支援策や関係団体と連携した乗車誘導策が必要であると考え、見解はどうか。また、小中学校の修学旅行等のバス利用による需要の回復は見込めるか。				① 地方のバス事業者においては、長年にわたり、貸切バスや高速バスの収益で路線バスの赤字を補填するという経営構造により、路線バスの運行を維持している状況です。			
				② 当地域のバス事業者においても、感染症が拡大する以前から、深刻な運転手不足や利用者数の低迷などの課題を抱える中、感染症拡大の影響に伴う貸切・高速バス利用客の激減により、路線・貸切・高速バスのすべての事業区分において、収益が赤字に転じている事業者もあるなど、非常に厳しい経営状況にあります。			
				③ 特に、貸切バス事業の収益の半分以上を占める、小中学校や高校の修学旅行等におけるバス利用についても、今年度に入ってから稼働はゼロに等しく、感染症の収束が見込めない中、今後においても、需要の低迷が長引くことが想定されます。			

上田市議会一般質問【個別質問】・答弁書

令和2年9月 定例会

質問通告番号第	7	号	質問議員	石合 祐太	議員	担当課	交通政策課
質問要旨				答 弁			
				④ このような中、アルピコ交通株式会社が県に対して、高速バス路線の公設民営化への支援についての要望を行った経過もあるように、路線バス運行を維持していくためには、国・県・市町村による支援体制をどう構築していくかという視点を持ちながら、市としての支援のあり方を検討する必要があると考えます。			
				⑤ 市では、去年の台風災害や今般の感染症の拡大を契機に、事業者との迅速な情報共有、意見交換を行うためのプラットフォームづくりに着手したところで			
				す。			
				⑥ 事業者においては、乗務員の健康管理の徹底のほか、車内の抗ウイルス加工をはじめ、シートや手すりの定期的な消毒、車内の換気等、様々な感染防止対策を講じています。			

上田市議会一般質問【個別質問】・答弁書

令和2年9月 定例会

質問通告番号第	7	号	質問議員	石合 祐太	議員	担当課	交通政策課
質問要旨				答 弁			
				⑦ 引き続き、市民の皆様は公共交通機関利用の安全性を正しく理解いただき、安心して利用していただけるよう、広報やホームページ等による啓発活動に努め、事業者と連携した感染拡大防止対策と乗車誘導策推進の両立を図っていきます。			
				⑧ また、3密回避などの「新しい生活様式」に対応する取組としては、感染症防止対策として有効とされる、非接触型のキャッシュレス決済サービスの導入をはじめ、公共交通におけるICT化推進に向けた調査研究も進めていきます。			

上田市議会一般質問【個別質問】・答弁書

令和2年9月 定例会

質問通告番号第	7	号	質問議員	石合 祐太	議員	担当課	交通政策課
質問要旨				答 弁			
ウ 別所線千曲川橋梁の災害復旧事業を行うに当たり、10年間の長期運行計画を策定したが、新型コロナウイルス感染症の影響により、想定していた乗客数が見込めない状況などがある。このため、計画を策定した時に前提条件としていたものが崩れているが、今後の計画をどう設定していくか。				① 別所線の災害復旧事業において、国の特定大規模災害等鉄道施設災害復旧事業費補助金を活用する要件である、「長期的な運行の確保に関する計画」を上田市と上田電鉄との連名により策定しました。			
				② この計画は、上田市が鉄道施設の公有化により一定の責務を果たしながら、観光誘客、利用促進策などにも連携して取り組み、事業者の経営改善を図ることによって、復旧後10年間にわたり、別所線の安定的な運行の確保を目指すものです。			
				③ 計画を策定した2月の時点において、上田電鉄では、令和2年度の輸送人員を86万9千人と推計しましたが、新型コロナの影響を踏まえ、現時点では67万3千人と、非常に厳しい状況になると見込んでいます。			
				④ 国からは、今後、計画を変更して再提出することは求められていませんが、市民の重要な移動手段、地域資源である別所線を10年先、20年先も存続さ			

上田市議会一般質問【個別質問】・答弁書

令和２年９月 定例会

質問通告番号第	7	号	質問議員	石合 祐太	議員	担当課	交通政策課
質問要旨				答 弁			
				せていくためには、毎年、輸送人員の推計を見直し、会社の経営状況の確認をしながら、当初計画の進捗管理をしたいと考えています。			
				⑤ 計画には、善光寺及び北向観音御開帳、東京オリンピック・パラリンピックを契機とする観光誘客・インバウンド施策をはじめ、地域住民・大学との連携による利用促進策のほか、コストダウンの取組も盛り込んでいます。			
				⑥ また、９月１０日に設置される予定の「上田市日本遺産推進協議会」による取組を大きなチャンスとして生かしながら、市民、関係団体、事業者との連携により、別所線の復興を推進していきます。			

上田市議会一般質問【個別質問】・答弁書

令和2年9月 定例会

質問通告番号第	7	号	質問議員	石合 祐太	議員	担当課	危機管理防災課
質問要旨				答 弁			
1 新型コロナウイルス感染症に対する備えと生活再建についての質問				① 新型コロナウイルス感染症については、ワクチンの接種等、有効な予防手段が確立されていないことから、災害時の避難においても、感染症対策に万全を期すことが求められています。			
(3) 集中豪雨時等に対する新型コロナウイルス感染症対策について							
ア 三密を警戒して、避難所への避難をためらうことがないようにするためには、避難所が感染症対策を講じていることとあわせて、災害発生の際は、適切に避難するよう啓発することが重要であるが、どのように行うか。				② 市の避難所における対策については、避難者や避難所運営従事者の安全を最優先に考え、3密対策として間仕切り用パーティションの追加備蓄を進めるとともに、マスクや手指消毒剤等の衛生用品の備蓄を進めています。			
				③ また、避難所において、感染症対策を踏まえた避難者の受け入れを行うことができるよう、避難所運営に携わる職員を対象とした研修を実施し、避難者の受付時の健康状態のチェックや体調不良者への対応、ソーシャルディスタンスを確保するためのビニールシートやパーティション等を活用した避難スペースの確保等、新型コロナウイルス感染症への対応を踏まえた運営の手順等について確認を行っています。			

上田市議会一般質問【個別質問】・答弁書

令和2年9月 定例会

質問通告番号第	7	号	質問議員	石合 祐太	議員	担当課	危機管理防災課
質問要旨				答 弁			
				④ 感染症対策を踏まえた災害発生時における適切な避難行動の啓発については、避難とは「難」を「避」けることであるということを原則に、自宅が安全な場所にある場合の在宅避難（動かない避難）、安全な場所にある親戚や友人宅等、市が開設する指定緊急避難場所以外の避難先の確保など、避難所に多くの人が密集することによる感染リスクを回避するための「分散避難」について、広報うえだに特集記事を掲載し、市民一人ひとりが自分の命を守る行動を考える機会を提供しています。			
				⑤ 同時に避難中や避難先でも感染予防を行うために、手洗いや咳エチケットの徹底、マスクや手指消毒剤等の衛生用品を非常持出品に追加して準備してもらうことを同様に周知しています。			
				⑥ 感染症対策に配慮して災害時に安心して避難してもらうために、今後も市ホームページや出前講座等の複数のチャンネルを通じて、適切な避難行動について周知を図っていきます。			

上田市議会一般質問【個別質問】・答弁書

令和2年9月 定例会

質問通告番号第	7	号	質問議員	石合 祐太	議員	担当課	福祉課
質問要旨				答 弁			
1 新型コロナウイルス感染症に対する備えと生活再建についての質問				① 今年の7月、全国社会福祉協議会 全国ボランティア・市民活動支援センターから、各県社会福祉協議会に対し、災害ボランティアセンター運営も含めた「感染拡大予防策の徹底」方針の周知がされており、今年7月の豪雨により大規模災害が発生した熊本県においては、この方針によるボランティア活動が行われています。			
(3) 集中豪雨時等に対する新型コロナウイルス感染症対策について							
イ 災害発生時に従事する災害ボランティアの方に対する感染症対策を徹底する考えはあるか。				② 今回の方針では、参加ボランティアの広域的な移動を避ける目的から、地域での活動が中心となるよう、地域住民を含め、地元の幅広い組織・関係者にも、ボランティア活動への参加を呼びかけていくことが示されています。			
				③ 災害ボランティアの支援が必要な被害が生じた場合は、上田市社会福祉協議会が主体となり、登録ボランティアに対して、「感染拡大予防策の徹底」方針に従った感染症予防対策を行ったうえでの参加依頼を行うとともに、必要に応じ地域住民に対しても、ボランティア活動への参加要請を行うこととしています。			

上田市議会一般質問【個別質問】・答弁書

令和2年9月 定例会

質問通告番号第	7	号	質問議員	石合 祐太	議員	担当課	福祉課
質問要旨				答 弁			
				④ 災害ボランティア活動については、今後も上田市社会福祉協議会と連携を 図り、適切な感染症対策に取り組んでいきます。			
</							

上田市議会一般質問【個別質問】・答弁書

令和２年９月 定例会

質問通告番号第	7	号	質問議員	石合 祐太	議員	担当課	障がい者支援課・高齢者介護課
質問要旨				答 弁			
1 新型コロナウイルス感染症に対する備えと生活再建についての質問				① 浸水想定区域等に立地する介護施設や障がい者施設については、市でも把握を進めているところであり、介護施設は約６０箇所、障がい者施設は約４０箇所が該当しています。			
(3) 集中豪雨時等に対する新型コロナウイルス感染症対策について							
ウ 浸水想定区域等の災害が発生しやすい区域に介護施設や障がい者施設があることから、災害発生時に避難所となる施設の状況を調査し、避難体制を改めて確立する必要があると考えるが、見解はどうか。				② 浸水想定区域等や土砂災害警戒区域に立地する介護施設及び障がい者施設の施設管理者等は、水防法及び土砂災害防止法により、災害に備えて避難確保計画の策定及び避難訓練の実施が義務付けられています。			
				③ 市としては災害発生時に施設等利用者の円滑な避難が行われるよう、県や関係機関と情報共有に努めています。			
				④ また、災害発生時に避難所となる施設の対応状況についてですが、市が開設する指定緊急避難場所については、必要な施設改修を行うとともに、プライベート確保のための間仕切り用パーティション等の備蓄を進めています。			

上田市議会一般質問【個別質問】・答弁書

令和2年9月 定例会

質問通告番号第	7	号	質問議員	石合 祐太	議員	担当課	障がい者支援課・高齢者介護課
質問要旨				答 弁			
				⑤ 介護施設や障がい者施設における利用者の円滑かつ迅速な避難を行うためには、避難確保計画を作成するとともに、避難訓練等の実施により災害対応力を高めることが必要であることから、県や関係機関と連携を図りながら、必要な支援に取り組んでいきます。			